

4月11日（火） はるのうた （1時間目）

はるのうたを読んでどんな話だと思ったかイメージを出し合う。

T1：聞き方レベル1と2を意識して、自分と違うかな同じかなって考えながら友達の考えをちょっと聞いてもらいたいと思います。では、ちょっと教えてくれる？草太くん

C1：春に、土の中から初めて出てきたカエルのはじめての日のうた（草太）

C2：同じ同じ

C3：ミートゥ

T2：今そうたくんと同じだなって思った人？（7名手を挙げる）

よく聞いているね、自分と一緒に考えてながら聞いてたんだね。

C4：似てるけどちょっとちがう（あゆむ）

T3：あ、似てるけどちょっと違う！いいですね。あゆむくん教えてください。

C5：冬から春になってカエルがうれしそうに歌っている。理由は、最初にカエルは冬の間土の中に入っていてということから、冬には土の中におるから、春になって出てきたってこともわかるし、ケルルンクックとか最初にうれしいなとか、最初に歌う感じで楽しそうにしてるから、そういうことを思った。（あゆむ）

T4：今のきいてみんなどう？

C6：理由がついてた（しゅん）

C7：わかりやすかった（るか）

T5：しゅんくんどう？

C8：カエルが太陽にあたって寝転んでいる（しゅん）

C9：みんなと違う発想やな（あゆむ）

T6：あ、みんなと違う発想やなって気が付いたのいいね。ほかの人どう？るかちゃん

C10：カエルが春の雨が降った後になんか、外に出て歌を歌ってる。理由は、水はつるつるって水が出てきているから（るか）

言葉をもとに問題を作りながらイメージを取束する。

T7：なるほど、じゃ今いろんなイメージをだしてくれたね。うれしそうだなとか、寝転んでる感じとか、土から出てきたところだって言ってくれて、11行以外のところもよく読んでくれてるなと思うんだけど、そういう気持ちを込めて、1番最初の1行目、なんて書いてある？

C：ほっ まぶしいな

C11：なんで「ほっ」であるんやろ（壮太）

T8：え、なんてなんて？

C12：なんで「ほっ」ってあるんやろうって（あゆむ）

T9：これみんなに話そうと思ってたんです。イメージを変えていくには、今、二階堂壮太君が言ってくれたみたいになんでこんな書き方してるんだろうって、自分で問題を作るのいいですよ。なんで「ほっ」って書いてあるんやろう、とか、「ほっ」ってどんな読み方するんやろうとかっていうのを考えていきたいと思います。みんななら、どんな風に読む？

（なかなか手が上がらない）

※45分間授業がとれなかったためここで終了。次回、C11の気付きから詳しく読んでいくことを確認した。

4月12日(水) はるのうた (2時間目)

「ほっ」の読み方は同じか変えた方がいいか。

1番: 同じ 8人

2番: 違う 26人

T1: 同じ読み方がいいなと思った人理由教えてくれる?かなとどうぞ。ちょっと待って、どうぞ

C1: 違うとは思いますが、ちょっと落ち着き目でうれしいなっていう喜び方をしているなあって(かなと)

C2: ん?

T2: いいね。ん?って言ってくれた人もうちちょっと詳しく教えてってかなとに言ってみて。

C3: ちょっと、驚く感じ(かなと)

T3: なるほど、驚くのはどっち?まぶしいのは驚いてる?うれしいのは?

C4: うれしいのは、なんか大人しいめで驚いててうれしいのも大人しいめ(かなと)

T4: 驚いているとうれしいと思っているやったら、ちょっと違うかな?なら、1と2の間で2よりかな?

C5: 2よりや

T5: ひよりも一緒?

C6: かなたさんと一緒に2よりやなあって(ひより)

T6: こういうのいいよね。友達の話聞いて同じだと思ってるっていうのはすごくいいことだね。

じゃ、2の人意見いってくれる?なんで2にしたのか教え。2の人。るかちゃん

C7: あの(るか)

T7: 待ってや。みんながるかの方見たなと思ったら話してや。

C8: あの、普通に「ほっ」のところをちょっと違う言い方で言った方が文章的に面白いと思う。なんか楽しいと思う。(るか)

T8: 付け足せる人いる?あ、今ひよりちゃんが「ん〜」ってうなずきながら聞いてくれてた。るかどう?みんながシーンとしてたらドキドキしない?(する)

でも、ひよりちゃんががるかが言ってたことに対して「うーん」っていうの気づいた?(うん)

それやったらどんな感じ?(なんか理解してくれてうれしい)

理解してうれしい感じに反応して聞けるひよりちゃんいいよね。じゃ、みんなで「うーん」とか「ん?」とか「あー」とか、友達が言ったことに反応しながら聞けるといいよね。あ、先生が今言ったことにこのみちゃんはうなずいてくれたよ。このみは分かってくれたんだ、って先生は分かったよ。ありがと。じゃ、もうちょっと2番の意見いってくれるかな。ここなちゃん。ここなもみんなが自分のこと見たなって思ったら話してよ。

C9: るかちゃんに付けたしで(ここな)

T9: はい、またいい言葉聞こえてきたよ。

C: 付け足し

T10: これなにかいいんだろう。あ、ほんとみんなかしこいね。

C10: るかちゃんが言っていることに付け足すときに礼儀正しくいってる。(しゅん)

T11: つけたすってことはるかちゃんのいってることを?(理解してる)

理解してるからこういうこといえるんだね。こういう言葉を増やしていきたいね。じゃ止めるの終わり。るかちゃんに付け足しで、続きどうぞ。

C11: はるのうたをおもしろくもしたいし、「ほっ まぶしいな」っていうのをかえるのことを表現しながら読んで方がはるのうたっていうのが分かりやすい(ここな)

T12: ひよりはどう?

C12：同じ読み方やったら、語尾がちがうから、まぶしいなとうれしいなで違うから、まぶしいなやったら、感じてることで、うれしいなやったら思っていることやから、ちょっと変えた方がいい。(ひより)

T13：なるほど、あゆむくん

C13：「ほっ まぶしいな」は暗いところにずっといたから、急に明るくなってまぶしくて驚いてる感じやけど、「ほっ うれしいな」は久しぶりに出れたしうれしい感じ。(あゆむ)

まぶしさについてイメージを出し合う。

T14：なるほど、じゃ、どっちがいいのか一緒に考えていこう。みんなさ、まぶしい時ってうれしい？

あ、ひとみちゃん首振ってくれてる。うれしくないんや。(うん)

ありがとう。先生も、まぶしい時あんまりうれしくないなあ。みんなどんな時がまぶしい？

C14：寝てた時にいきなり明るくなった時(しゅん)

C15：太陽に目があたったとき(ロン)

C16：寝てる時カーテンあけられたとき(あつき)

T15：それどんな気持ち？(いやや：あつき)

なあ、先生も寝てるのにいきなり起こされたらいややわ。ほかどう？しおんちゃん

C17：外で日向ぼっこかしてる時に上見たとき(しおん)

T16：おい散歩してるときとかに「あ、まぶしい」ってなるね

C18：外で野球練習してた時に雲が晴れて明るくなったらまぶしい(あゆむ)

T17：ほかにもあると思うんだけど、じゃ、みんながまぶしい時のまぶしいはうれしくないまぶしいやんな。

このカエルはさ、どのくらいまぶしいんやろ？みんなが経験したことのあるまぶしさ？(ちがう)

C19：カエルは自分で出てくるから、土から出れたときまぶしいってなるけど、土から出てきてうれしいってなるかなって思う。(ロン)

T18：じゃ、ロン君は1番の考えかな？(うん)

先生は、最初のほつまぶしいなは、うわつまぶしいー！でも外に出れてうれしい。

っていう風に読むかな。みんなはどんな風に読むか練習してみよう。

【振り返り】

- ・最終の支持をとらず、教師の読み方を押し付けて終わる授業になった。予想される反応や授業構想が足りていないことが原因ではないか。
- ・授業の中で大切にしたいことを伝えながら進めていたので、話が途切れて内容が飛び飛びになってしまい、聞いている子どもたちは理解するのが難しかったと思う。
- ・オウム返しばかり。Cの後にほかの子どもたちが反応するより先に教師が反応してしまっている。
- ・発言する児童の少なさ。反応が悪い子たちではないので、答えにくい発問や、教師中心に授業を進めているやり方が原因ではないか。